学校づくり・地域づくりに関わるすべての皆さんへの情報紙
きょうどう No.6
R6．10月
津山教育事務所　生涯学習課
義務教育支援課

学校運営協議会を活性化させるために

～勝央町立勝央中学校の取組を紹介します！～

津山教育事務所管内では、約９割の学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとなっています。しかし、体制は整ったものの実効性のある運用や、効果的な取組の進め方など、各校で試行錯誤されている様子もお聞きします。

今年度、岡山県教育委員会の**「地域学校協働活動アドバイザー派遣事業」**を活用し、学校運営協議会の充実に取り組んでいる勝央町立勝央中学校の取組を紹介します。

勝央町立勝央中学校 学校運営協議会

・平成２３年度に学校運営協議会を設置（１４年目）
・現在の委員は１２名
・委員の中に地域学校協働活動推進員が入っている。
・年間６回の会を実施
・会の後に、毎回「学校運営協議会だより」を発行
・会には毎回、教育長、教育委員会職員が参加

第１回学校運営協議会（5/27）

最初に、委員の任命が行われ、教育長より代表して会長へ委任状が手渡されました。

その後、校長先生より令和６年度の学校教育計画についての説明や、会長や事務局より今年度の学校運営協議会の活動計画について説明があり、委員の皆さんに承認されました。

会に参加した安田隆人アドバイザーからは、地域と学校の連携・協働について自身の経験を交えた具体的なお話や、アドバイスがありました。

安田AD

委員さんと学校の１対１のやりとりの場面が多く見られたので、会の中に**委員同士の対話やミニ熟議の時間を設定**してはどうですか。

また、委員だけでなく、生徒や教職員、地域の方も巻き込んだ**拡大熟議を行う**ことで、課題解決につながる取組が進むと思いますよ。

研修会（8/21）

第１回の安田アドバイザーの助言を受け、教職員の校内研修に学校運営協議会委員や地域ボランティアも参加して**熟議**を行いました。安田アドバイザーがファシリテーターとなり「勝央中の子ども達にどんな人に育ってほしいか。」「子ども達に力を付けるためににどんな活動ができるか。」をグループで話し合い模造紙にまとめました。

付せんに書いたものを模造紙にまとめる

参加者

・熟議を通して、いろんな立場の方の考えが聞ける機会は貴重だと思った。
・とてもよい話し合いができたので、小さなことでも形にしていければと思いました。

第３回学校運営協議会（9/12）

第３回の会には、生徒会執行部の**生徒が参加し**、委員の方々に生徒会の取組を紹介しました。委員の方からの質問に、生徒が答える場面も見られました。８月２１日の研修会で作成した模造紙をみんなで見る時間を取り、その後、生徒や委員、教育委員会職員、管理職が３つのグループに分かれて話をしました。

「勝央町の良いところは？」「地域の人はどんなお手伝いができる？」「地域の人と一緒にできる行事があるかな？」など、活発に話し合われました。

学校運営に関して、**学校の主役である子どもの意見を聞く**ことの大切さを感じるきっかけになりました。